

# IoTシステム技術に関する 検定や講習会の必要性

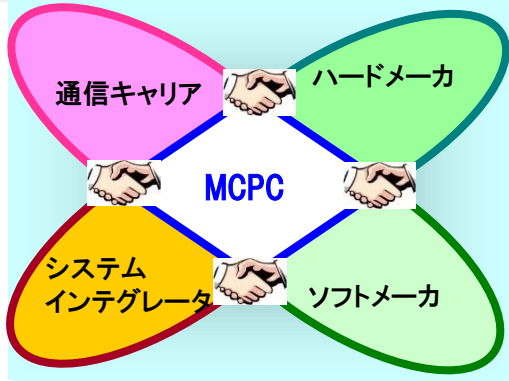
2016年9月27日

MCPC

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

# MCPCの会員構成

目標 世界、特にアジアにおけるM2M/IoTシステムの先導的役割を果たす(技術、普及、人材育成)



◆1997(平成9)年 設立◆会員数 164社('16年9月現在)

幹事会員: 8社



正会員: 46社

キヤノン、京セラ、アルプス電気、日本自動車工業会、CTC、矢崎エナジーシステム、NTTソフトウェア、デンソー、パイオニア、クラリオン、JVCケンウッド、三菱電機、SONY、沖電気、UQコミュニケーションズ、トレンドマイクロ、パナソニックモバイルコミュニケーションズ、システナ、ゼネテック、東芝ソリューション 他

賛助会員: 89社

TDK、ブラザー、カシオ計算機、兼松コミュニケーションズ、KDDI財団、KDDIテクノロジーズ、玉川大学、日本電子専門学校、岩崎学園、電波新聞社、日刊工業新聞、日立IA、日立ソリューションズ、インテル、クリエイト、大塚商会、東芝テック、エム・フィールド、コネクシオ、加賀電子、三和電子、ベータテック、ACCESS、アビームコンサルティング、インターコム、AOSテクノロジーズ、ミライト情報システム、富士通ビーエスシー、シスラボ、日本IQP、日本テレネット、BizMobile、菱洋エレクトロ、ワンビ 他

相互協力会員: 21機構、団体

- |                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| 日本貿易振興機構(JETRO)         | (社) コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)     |
| 大韓貿易投資振興公社(KOTRA)       | (社) 情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)     |
| (社) 電波産業会(ARIB)         | (社) 新世代M2Mコンソーシアム            |
| (財) 電波技術協会              | (NPO) 日本Androidの会            |
| (社) 電子情報技術産業協会(JEITA)   | (社) 日本コンピュータシステム販売店協会(JCSSA) |
| (NPO) ITコーディネータ協会(ITCA) | (NPO) 日本プロジェクトマネジメント協会(PMAJ) |
| (社) 企業情報化協会(IT協会)       | (社) 日本ベンチャーキャピタル協会           |
| 工業技術研究院 資訊與通訊研究所(台湾)    |                              |

下線は政府関連組織

協調団体: 9

- IEEE(USA)、Bluetooth-SIG(USA)
- WTA: Wireless Technologies Association(USA)
- IrDA(USA)、Wavefront(Canada)
- Bluetooth-SIG(USA)
- Philippine Software Industry Association(PSIA)

他



会長 安田靖彦

東京大学名誉教授  
早稲田大学名誉教授  
副会長  
NTTドコモ  
KDDI

センサ関連会社の多くは会員です。

# MCPC活動の概要

端末インターフェイス標準仕様、  
車載機器インターフェイス標準仕様  
接続互換性検証  
Bluetooth Technical Reference  
モバイル,IoTセキュリティ調査と新仕様  
AI&ロボット技術・市場動向  
USB充電(安全)対策

**技術活動**

**変化を先取り**

**普及啓発**

**3本柱**

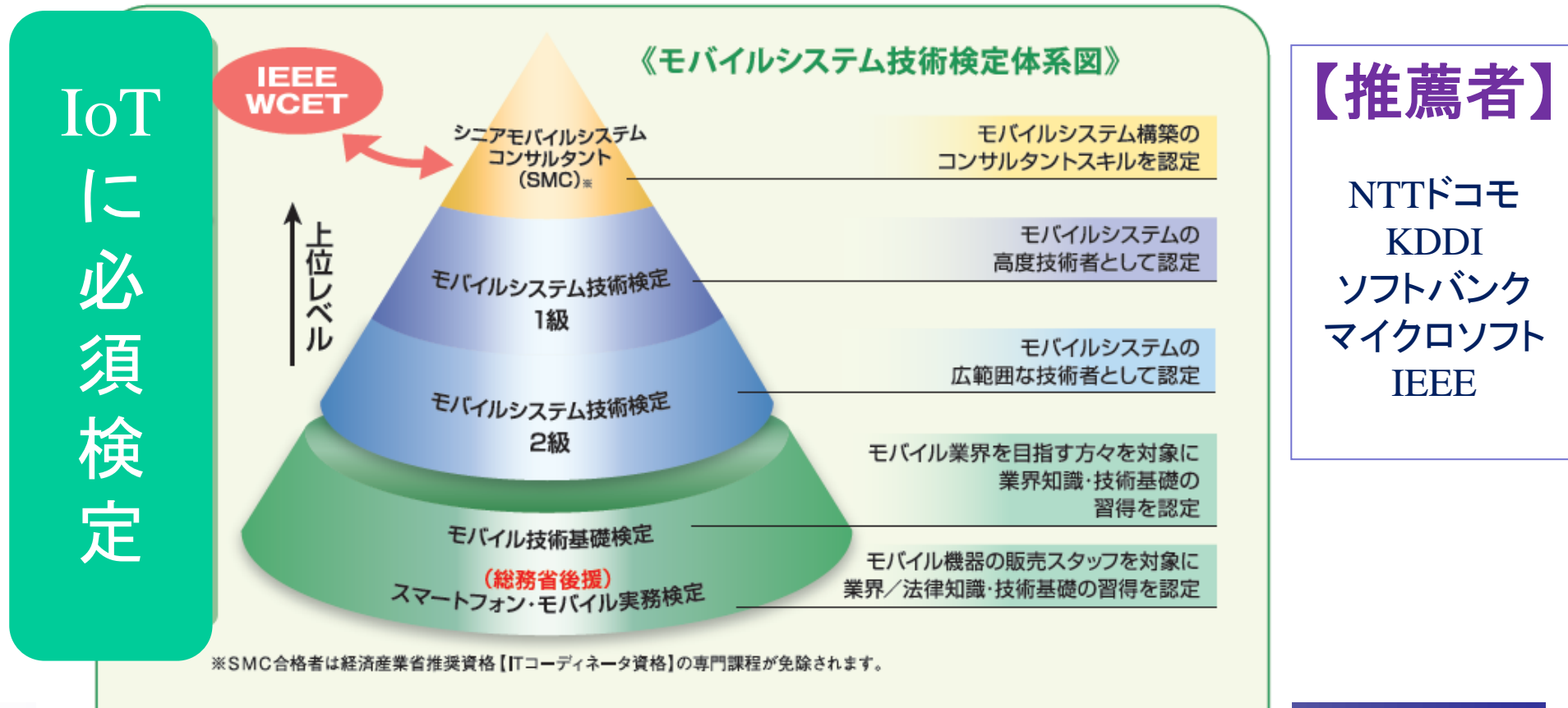
**人材育成**

モバイルIoT活用事例集  
MCPC モバイルソリューションセミナー  
MCPC アワード  
モバイル活用／テレワークセミナー  
ベンチャー支援(含 海外企業)  
在日公館モバイル・IoTフォーラム

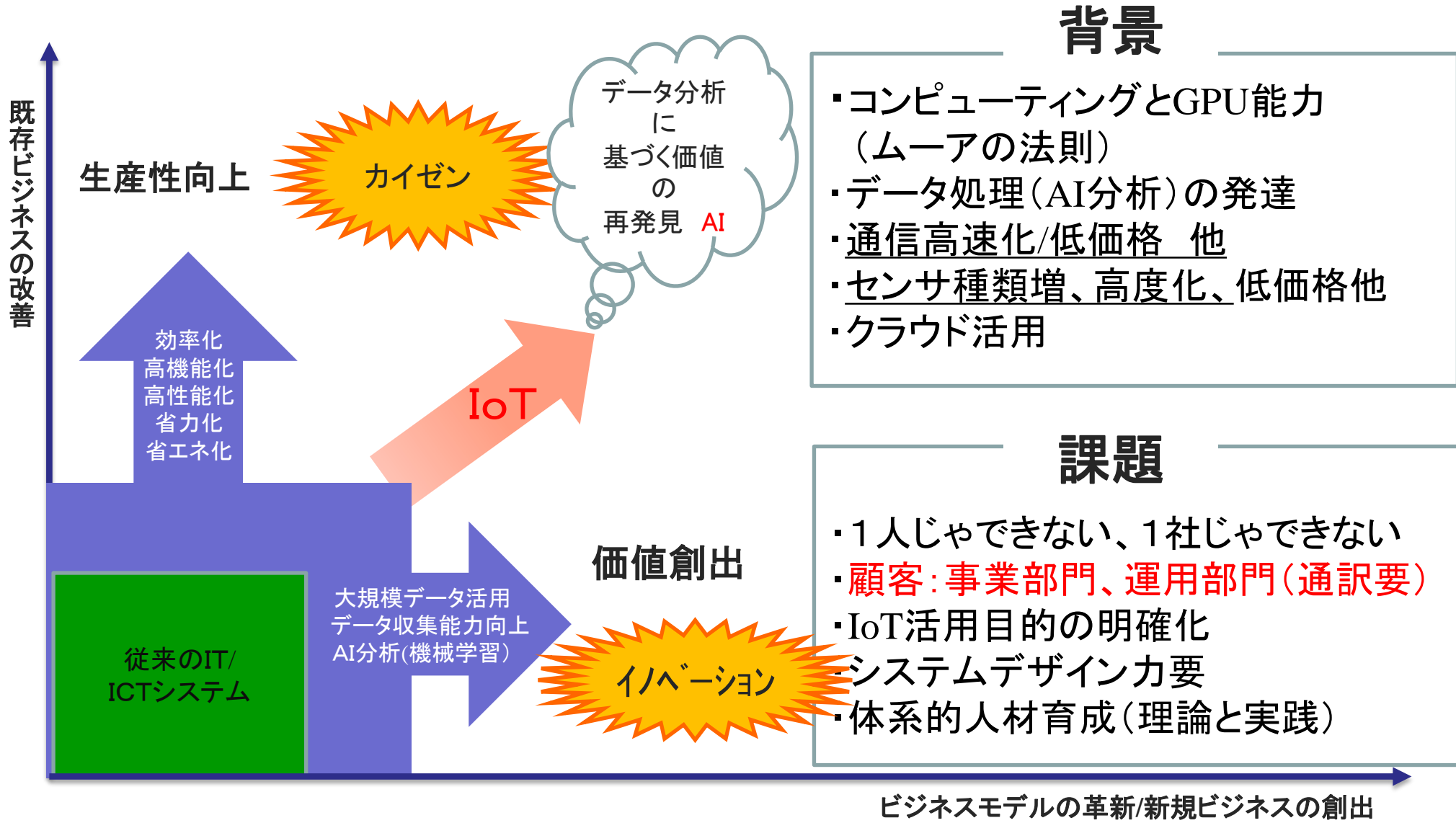
(人材力が源泉)  
モバイルシステム技術検定  
(基礎、2級、1級、SMC)  
スマートフォン・モバイル実務検定  
(総務省後援)  
IEEE WCET検定  
検定対策講習会  
IoT人材育成(計画中)

# モバイルシステム技術人材育成

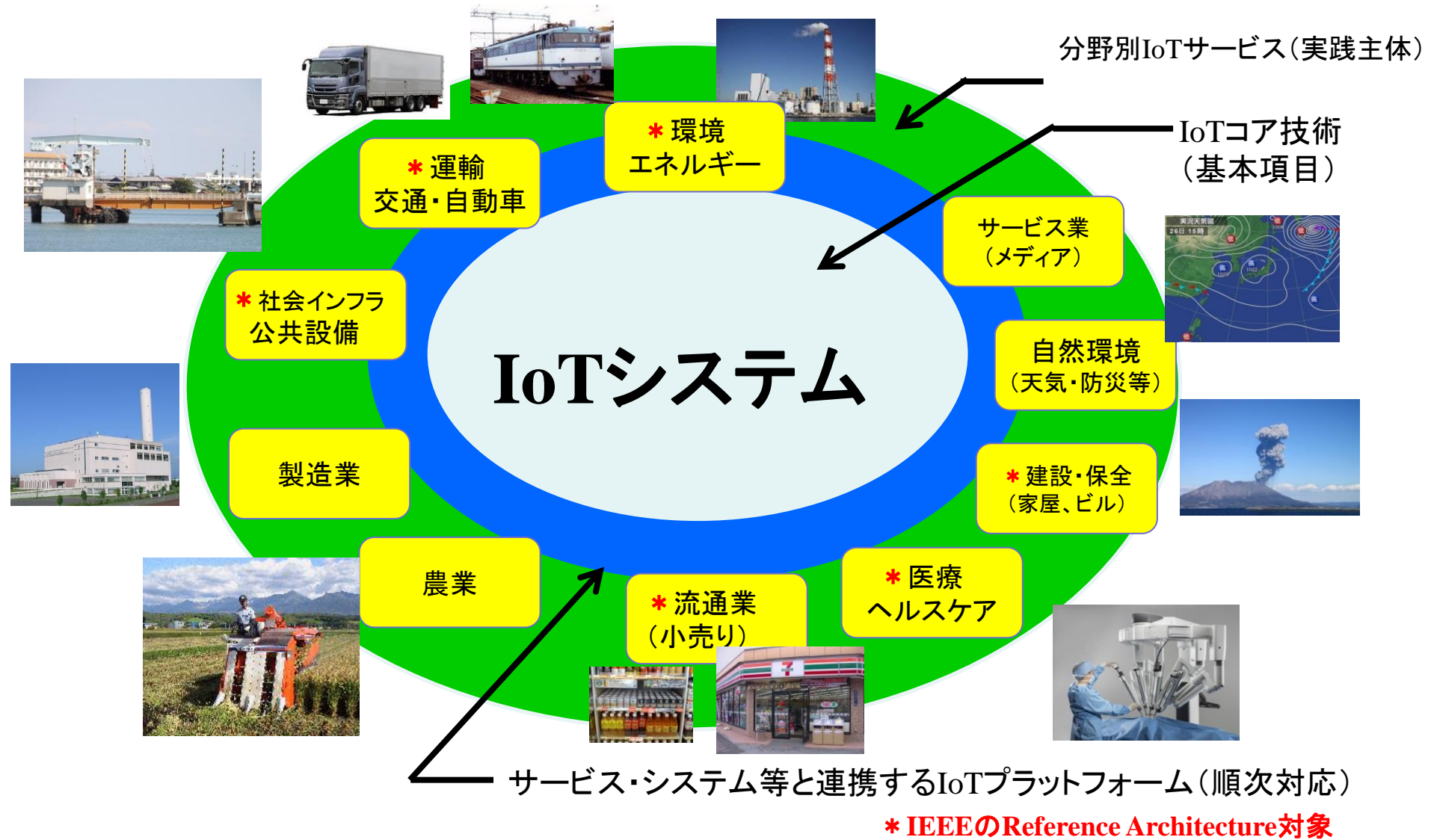
- ・モバイルシステム技術検定体系化(基礎、2級、1級、SMC)
- ・モバイルシステム全体を理解、更に分野別のスペシャリスト育成
- ・6,3万人受検！(2016年9月)



# IoTシステムの特徴



# IoTの適用業界





# 第三者が認定する検定のイメージ

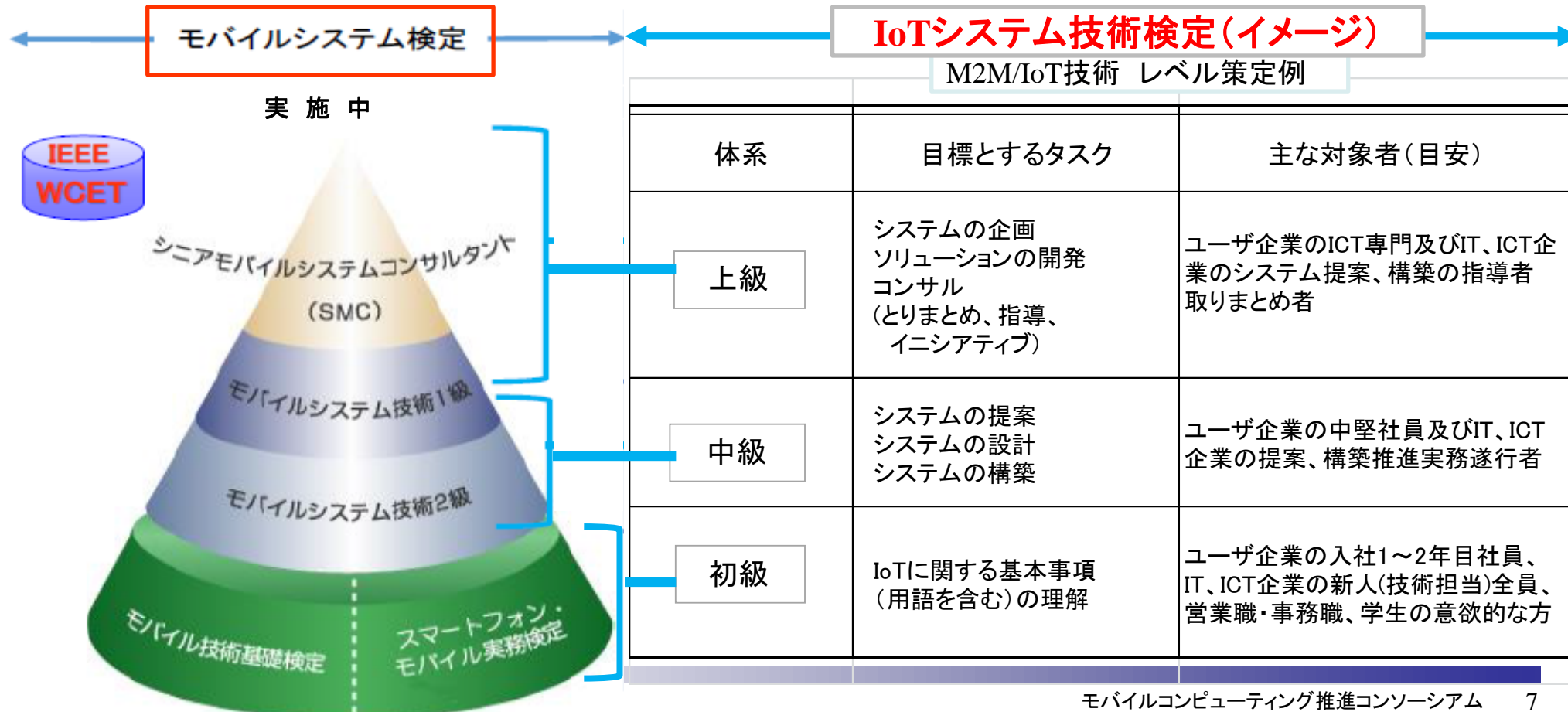
## 技術項目、内容の策定要

IoTシステム技術検定は**初級、中級、上級**の3ランク。

初級は、ICT関連及びセンサー、組込み技術、BD等に一定知識を有し、IoTに関する基本的内容(用語含む)の理解できる人材。

中級は、IoTシステムの構成要素を理解し、システムの設計、構築提案が可能な人材。

上級は、IoTシステムの構想、企画、ソリューションプロセスの開発可能な人材。



# IoT人材育成分科会への期待

- (1) IoT技術項目と人材像の設定
- (2) IoTスキルセット(仮称)策定と更新
- (3) 育成手段の策定
- (4) 既存技術(資格)者のIoTスキルへの対応
- (5) IoT人材の交流の仕組(業界連携/学会/海外)

